

E.R.F.C.

Newsletter 2004 vol.1

【すこし変わりました】

そう、今年からERFCの体制が少しだけ変わりました。と言うわけでもずは会長のあいさつから。

こんにちは、ひでまる@会長です。今年ももう5月、ゴールデンウィークも終わっちゃいましたね。みなさんはどこかにドライブに行きましたか？ぼくは黄色いユーノスを失ってから1年、最近はあるまりドライブらしいドライブはしてないんですが…。もしどこか楽しいドライブルートがあったら教えてください。ただし、ミニでも登れるくらいの、あんまり坂がキツくないとこがいいです（笑）

ところで、前号でお知らせした通り4月には総会をおこない、E.R.F.C.は(たぶん)15年めに突入しました。今年の総会ではいままで毎年4月にいただいていた「通信費」についてちょっと大きな変更を行うことになりました。詳しいことは総会の報告にあるとおりですが、ちょっとややこしいのでよく読んでみてわからなければ気軽にご質問ください。もちろんご意見、ご要望もお待ちしております。

今年も清里でみなさんにお会いするのを楽しみにしています。無事に開催できるようにスタッフもがんばりますので、みなさんも応援してくださいね。

(No.590 ひでまる)

【総会報告】

そんなわけで続きましては副会長から総会での決定内容の報告をば。

去る4月17日(土)に、2004年度のE.R.F.C.総会が開催されました。

場所は最近おなじみ末広町の通運会館。総会がてら各自秋葉原を物色するのが恒例化しつつありますね。では早速議事の報告を…。

スタッフ改選

今年度の事務局は以下の通りです。長年会計を担当し「金庫番」と称されていた高橋が転勤のため副会長が兼務することになりました。その他の顔ぶれに変更はありません。

- ・会長 今中 英夫
- ・副会長 和田 大
- ・会計 和田 大(兼任)
- ・清里実行委員長 小関 秀樹
- ・事務担当 角山 恵一
- ・会報編集 小関 秀樹(兼任)
- ・会報印刷 高橋 千佳子
- ・渉外 渋谷 康人
- ・ウェブ&メーリングリスト管理人 和田 大(兼任)

今年度の活動について

- ・清里ミーティング(11月7日予定)
恒例の清里ミーティングを今年も開催します。今からスケジュールを空けておいて下さいね。さて今年のゲストは誰になるのでしょうか？
- ・ピクニック
今年も開催を予定してます。詳細は追ってご連絡致します。
- ・安全運転研鑽会
ピクニックと併催したいと考えていますが今年も無理っぽいです。すみません。
- ・会報について
今年度から年6回の発行を不定期発行に変更します。これに伴い従来頂いていた通信費を廃止します。通信費の詳細については「ERFCの今後の運営について」をご覧ください。

会の運営年度について

運営の実態に伴い、「4月～翌年3月」だった会の運営年度を「清里ミーティングから翌年の清里ミーティングまで」に変更します。従って今年度は変則的になりますが、次回の清里ミーティング

までの経過措置についても、「ERFC の今後の運営について」をご覧ください。

...ということで相変わらずながらも実態に合わせ

て活動内容を修正しつつ、今年も秋の清里ミーティングをメインに活動を進めていきます。

(わだ)

【夢見る頃を過ぎても】

先日、夢の乗り物に乗る機会がありました。いやあ、1年前には古~い車に乗る機会がありましたし、今回は最先端の乗り物。ちょっと自慢してもいいですか？(笑)

今年のGWは土日にうまく重なってしまったのが災いして(?)どこに行くにも渋滞の嵐。そんなわけで、私は車で出かけるのはあきらめ、電車で伊勢に日帰りで行って赤福氷や伊勢うどんを食べたりしてきたのが唯一の遠出でした。あ、もちろんお伊勢さんで世界平和の祈願もしてきました。(ホントか?)

で、その神社じゃなくて(^^)ジンジャーことセグウェイに試乗してみました。と言うことで、今回はそんな話を。

何故セグウェイに乗れたのか?と言うのもうちの近所のショッピングセンターでのイベントとして試乗会が開かれていたからなんです。調べてみるとセグウェイの試乗を売りにするイベント会社があるみたいです。いやあ、夢の乗り物も実用化に入り、気が付けば客寄せパンダ扱いかぁ。。(^_^;)

ともあれ、1回200円で試乗できるなら行ってみるべえ、と友人を誘って出かけてみました。そのショッピングセンター内の通路に作られた屋内特設コースでの試乗です。着いた時にはまだ開始前でセグウェイは地面に突っ伏してます。午前と午後、それぞれ限定50人と言うことだったので念のため10時開店にあわせて行ってみたら、整理券番号は12番。それもチラシを配って参加者を募ってます。あれ? 案外、人気ないのね。(^_^;)

とりあえず自分たちの順番が来るまではイメージトレーニングついでに人が乗のを見学。写真やTVで見ているとは見えあの形の2輪車が安定して立っているのを実際に見ると結構感心する。みんな始めこそ少々戸惑ってる人もいるけれど、すぐに乗りこなしている。中学生から主婦層まで、、、。買い物に来たついでのようなオバちゃんが『次世代乗り物』(チラシからそのまま引用(笑))を運転している姿は少しシュールかも。コース沿いを買い物客が行き交っていくが思ったよりも世間の関心は薄いらしい。

半分以上の人が横目で不思議そうに見ていく程度。立ち止まって眺める人は時々いるけど、試乗してみようと言う人はなかなか増えない。まあ、普通はそんなもんなんではなかねえ。

さて、そんなこんなで待つ事30分。いよいよと言うことでまずは試乗前にスネあてを着用。ヘルメットも用意されていたものの、大人は免除されていた様子。係員から簡単な説明。「進むときは前に体重をかけます。停まる時は重心を戻します。回転はグリップをゆっくりとひねります。じゃあ、乗ってください」って、早っ!(笑)

乗る時と最初の動き出しこそレバーを支えてもらったりもしてたけど、すぐに要領はつかめます。そうすればあとは自由走行。最初のうちはレバーだけを前に出そうとして重心があまり移動しなくて速度も思うように出なかったけれど、重心移動の要領がわかればあとは思う通りに動かすことができる。係員の監視の下とは言え、長さ10m、幅3mほどのエリアで5分間の走行体験。

運転は噂に聞いていた通り、ほんとに重心を前後に振るだけ。ブレーキは無くこれも体重移動で停止状態にすることになる。今回はスピードも出ないので急ブレーキをかけることなく、思い切り後ろに重心をかけると停止からそのまま後方に走り出すんじゃないかと心配したり・・・。

そして左右への回転は左手のレバーに付いた



ステアリンググリップをひねることで左右のタイヤの回転速度が変わり好きなように曲がることができます。もちろん停止状態ならその場で回転できます。慣れれば簡単。と言うか、動かすだけならほんとにすぐにできます。また予想以上に安定しているので何の違和感も無く停止できますし、その場での回転だって何の問題も不安ありません。ただ、後退だけは後ろを確認しようと振り返ると重心がぶれるので慣れないと難しそう。ま、確認しないで後退するだけなら多分簡単なんですけど、後ろに倒れこむように体重移動するってのは前に体重移動する以上に難しいです。(^_^)

コース内にはパイロンがいくつか置かれてはいましたが、小さなプラスチック製で、当たってもどうと言うことは無いような代物です。ま、それを目標に小刻みなスラロームをしたり、存在を無視して少し速めの速度で大きく回ってみたり。向こうの端に着いちゃってもその場で180度ターンしてまた走り出せばいいので幅が狭いコースでも充分です。とは言え、屋内ではコースの長さも限られてますし、大してスピードが出せるわけじゃありません。一応、試しに少しスピードを上げようとしたんですが、何も無いところに倒すように体を預けるって結構勇気が要ります。(汗)まあ、スピードが出たといっても歩くより遅い速度から早足程度にあげた程度なんですけどね。(^_^)



ちょっとかわいい注意のイラスト(笑)

確か、3種類の速度制限キーがあるはずで、おそらくは低速モードにされていたはずですから最高速でも10km/hは出ないはずですよ。

まあ、5分間の試乗なんてあっという間です。不思議な感覚を楽しんでいるうちに終わってしまいました。

運転してみた感想を言うと、正直アレはまさに技術屋の発想の乗り物で、運転する人の感覚がいづれか欠如している気がします。確かに動かすだけなら

判りやすいし、機械としての応答性もいいんですが、その動きに遊びがない上に人間の側に制御のイメージが持ちづらい分、体が対応しにくい面がいづれかありました。今回のように十分に管理された条件下で前後に進むだけならいいのですが、立ち乗りで重心が高いこともあって、特に急旋回(ステアリンググリップを急にひねってしまうこと自体が原因ですが)モードに入りかけると体が振られかけたりもしました。急ブレーキだってブレーキポイントが判ってる場合ならいいのですが、とっさの場合にそう反応できるかどうか。。

まあ、どんな乗り物であれ、慣れるまでは運転しづらいとかの問題は多かれ少なかれあるわけで、使い方次第ってことなのかもしれませんがね。歩く代わり程度の速度域なら比較的問題は少ないと思いますが、自転車の代わりとかましてやスクーターの代わりにするには緊急回避時の性能や挙動が人間とマッチしていないことが気になります。面白い乗り物だとは思いますが、少なくとも今の状態では私はセグウェイに乗って自動車と同じ車道を走りたくは無いですし、かと言って自転車と一緒に歩道を走るのもごめんこうむります。(^_^)

こう言う時に日本のメーカーにこういうことやらせたら、操作系の制御なんかはまさに痒いところに手が届く的に細かくなってもっと乗りやすい代物になるんじゃないかと思ったりもしますね。(だから面白くなくなる、なんて声もどこからか聞こえてきそうですが・・・)

ちなみに去年運転したT型フォードは運転するまで講習やらイメージトレーニングやらがあったわけですが、さすがにセグウェイはそんなの無しのぶっつけ本番でも乗れるお手軽で身近な乗り物とは言えます。でも、やっぱり運転の手軽さと楽しさとは必ずしも一致しないと言うことはろどすた乗りの皆さんには今更言うまでも無いですよ。

ま、そんな話とはともかく、遊園地の乗り物を楽しむ感覚であればなかなか面白い5分間でした。

ただ、客寄せパンダにしては50人限定のイベントに20人程度で参加者が頭打ちになっている様子だったのが気になるところ、、、。ネットの世界なんかではあれほど騒がれたのになあ。(; ^_^)

【ちょっとした近況報告 part 2】

あの、えーと、なんというか、悪い時には悪いことが続くようで。。
つのやまご夫妻。宝くじとかは買いましたか？(;^_^

2月初めの追突事故のことはダンナが書いたので、ご存知の方も多いと思う。まったくとんでもない災難だった。ワタシは未だに毎日病院通いの身である。しかし、厄年恐るべし?!これだけでは済まなかったのだ・・・

4月5日、月曜日、快晴。ワタシは9時45分に家を出た。10時出社の派遣社員でしかも勤務先は家からクルマで5分なので、これで十分間に合うのだ。とはいえ、月曜日は燃えるゴミの日なので、出勤途中に近くの集積所に寄る。集積所は会社とは反対方向なので、ちょっと遠回りをすることになるが、大した距離ではない。

無事ゴミを出して、会社へ向かった。いつもより1本外側の少し細い道を通り、小さなプロパンガス屋の前を通過して最初の角を右に曲がればいい。と、角の一旦停止で止まったところで左側の畑の向こうからトラックが来るのが見えた。当然、通過を待つワタシ。

トラックの横腹の文字を見ると、今通り過ぎてきたばかりのプロパンガス屋の車のようだ。こちらに近づいてきて・・・右折のウインカーを出した。つまりこちらに向かって曲がってくるわけだ。じゃあ行っちゃってもよかったかな、と思いつつ待っていると・・・近い。あまりにもクルマが近い。ちょっと、それは近すぎるんじゃない?と思ううちにも、どんどんトラックは接近してくる。運転してるのは(たぶん)ワタシより若い、メガネをかけた男だ。彼と目が合ってるのに、でもトラックは止まらない。

え、ちょっとそれマジにやばいって、止まってくれれば下がるから、だから、ちょっと待って、あのちょっと、うわズイ!ワタシがシフトノブに手をかけた瞬間。

「キュキュキュキューツ」

・・・えーん。(号泣)

幸いにも運転手は(ものすごく運転が下手だろうとも)真面目な人だった。何もゴネることなく、すぐに謝ってくれ、警察に連絡してくれた。こちらもとりあえず会社に連絡し(だって遅刻だもん)ケータイのカメラでクルマの写真を撮っておく。ロードスタは右前のフェンダーに大きくすり傷がつき、ヘッ

ドライトの横辺りがへこんでしまっている。一応、トラックの様子も見たが、バンパーに軽くすり傷がついただけだった。くうーっ。



しばらくして、トラックが来た方向から自転車に乗ったおばさんがやって来た。まっすぐトラックのところに乗り付けて、相手の運転手と何やら話している。知り合いかな?と置いていたら、おばさんはこちらには声をかけずに走り去った。

警察はまだ来ない。憂鬱な気分でロードスターを眺めていると、さっきの自転車おばさんが、今度は徒歩でこちらへ近づいてくる。とりあえず見ないフリのワタシ。そばに来たおばさんは言った。「ぶつかったの?」間違いは即刻訂正だ。「ぶつけられたんですよ」とワタシ。

すると「ちゃんと止まらなかったんでしょ?ここ一旦停止だよ」

・・・あア?そういうこと?

ブルーな気分を振り払い、直ちに戦闘準備完了!微笑みながら言い返す。「止まりましたとも。一旦停止ですからねえ」そこに絶妙なタイミングで、パトカーがすべりこんで来たのだった。

やって来たのは年配の物慣れたふうの男性で、警察官というよりはお巡りさんとお呼びしたくなるフレンドリーな雰囲気の人。テキパキと現場検証にかかる。すると、相手の運転手ではなく、おばさんの方が状況を説明し出すではないか。「現場にいなかった方が、あれこれ言うのは止めてください!」と即、釘を刺す。おばさんの視線が刺し返してくるが、負けないぞ。検証後、双方の車検証・免許証を出して記録してもらおう。剣呑な視線で眺めていたおばさ

ん、遂にこらえきれなくなったらしい。ワタシの住所と名前を確認して「小学校のそば？ツノヤマ？・・・フン、そんなうち知らないわねえ」にこやかにお返事。「そうですか、お取引ありませんからご存じないでしょうけど、でもちゃんとあるんですよ」ギツとにらむおばさん。とうとう頭にきたらしい。

「じゃあなんでこっちの道通るのよ！あっち通ればいいじゃない！」

・・・はア？思わず絶句してしまったが、ここで見かねたお巡りさんが「あのねえ、そういうことじゃないから」と割って入った。ブレイク！



幸いにも人間にケガがなかったので、物損事故として処理されることになった。しかしキレたおばさんを見ていたお巡りさんは心配になったらしい。「事故は起こってしまったんだからしょうがないよ。冷静に落ち着いて、保険屋さんに任せなさいね」と言っていた。

その日のうちに、相手側の保険会社から連絡が入った。100%相手側の責任ということで修理と代車の手配をしてもらい、我が家のろどすたは2ヶ月間で2度目の入院の後、綺麗になって帰ってきた。結局、あのおばさんが誰なのかはわからなかった。

ワタシはといえば、その後問題の道は一度も通っていない。「君子危うきに近寄らず」というではないか。別にワタシは君子でも何でもないが、あんなアブナイおばさん（と運転の下手な人）のいるところにわざわざ近寄ることはない。リスク管理をきちんとしてこそ、平和な生活が送れるというものである。

(つのやまけいに)

【我が家のG・W】

さてさて、こちらはスタッフから届いたGWの王道たる休日の報告ですよー。

今年は2つのイベントがありました。ひとつは「わんこそば&ふるさと村&小岩井農場ツアー」2日朝、「はやて」で盛岡入り。

「東屋」というわんこそば屋に行きました。私は79杯でギブアップ。かみさんは59杯、3歳の息子(以下コタ)は6杯



食べて胸を張ってました。ふるさと村では、南部せんべいと竹細工を実際に自分で作って楽しみました。翌日は小岩井農場でコタの大好きな乗馬(ポニー)。途中、馬引きのお兄さんと雑談を交わす余裕をみせて

いました。

そしてもうひとつは「上野駅・鉄道まつり」。これは構内駅長室前スペースを使ったイベントです。



ミニSLに乗り、鉄道模型を見て、駅弁を食べて楽しみました。

驚いたのはその日のニュースに、「はやて」のパークラフトを親子で作ってる映像が流れたことです。

次の日、ニュースを見た友人から聞かされました。う～ん、見たかったなあ...

(前田)

重要 【ERFC の今後の運営について】

例年でしたら新年度最初のプレスで通信費納入のお願いを載せるのが恒例なんです、総会での議論の結果、今後の ERFC の運営について以下通り変更となります。

つきましては、この時期に例年のように通信費をお送り頂く必要はありませんのでご注意下さい。

【今年からこう変わります】

1. 今年の清里に来場頂いた方には翌年の清里までの約 1 年間、清里ミーティングを中心とした内容（告知号、報告号など）のクラブからのお知らせをお送りします。
2. 清里以外の内容のクラブからのお知らせ（従来のプレスにあたります）に関しては、発行するのに十分な量の記事が集まった場合発行し、1 と同じ方にお送りします。
3. 今年の清里には参加できないが、クラブからのお知らせをご希望になる方については、清里の告知号の中で改めてご案内する予定です。

【今年の清里までの経過措置について】

1. 昨年度分の通信費を既にお支払い頂いた方には今年の清里直前までのクラブのお知らせをお送りします。（手続き等は不要です。）
2. 昨年の清里にご来場頂いた方で、昨年度分の通信費は払っていない方には例年同様に清里の告知号のみお送りします。

このように、従来からの活動実態を追認する形で清里ミーティングを中心とした運営形態となります。とは言え、清里ミーティング以外のことには手を出さないわけじゃなくて従来どおり、できる範囲でそこそこがんばっていきます。少しだけ形式の枠をゆるくしたただけだと思ってください。

そんなわけで、今後ともよろしくお願いします。

【編集後記】

どうも、T型フォードからセグウェイまで、暮らしを見つめる(?)清里ミーティング実行委員長兼編集担当の豆蔵です。いやまあそんなわけで変則的新年度の第1号です。新年度なんていいましたが、今後の会報は年度じゃなくて実際の発行年で数えるようになるかもしれません。が、実態も内容もごらんのよう去年と基本的に同じです。とりあえず今年度もよろしくお願いします。

さて、編集担当から新体制についてこの場を借りて補足説明です。今回の変更の大きな点は活動の実態に合わせて清里ミーティングを中心とした運営にすることです。そしてもうひとつはプレス発行作業の軽減です。じゃあ今後、このプレスはどうなるの？清里告知と報告以外、出さなくなっちゃうの？なんて思われてるかもしれません。

ちゃんとこれからも出します！記事さえあれば。(^^)

正直言いまして、スタッフも多くが家庭を持ったり仕事などでもそれぞれ忙しい立場になるなどしてなかなか今までのように時間が取れなくなってきたのと、それぞれの理由でろどすたから離れたことなどもあり、毎回記事集めには苦労しています。そんな状態でこれまでどおりにプレスを発行し続けることに意味があるのか？時にはやや強引に書いたような記事まで読んでもらう必要があるのか？と議論した結果出した結論です。

でも時には読んでもらいたい話や記事にしたいイベントなんかもあるわけで、そう言うときにはクラブからのお知らせって形で(って、この書式のままになる気がしますが・・・)随時発行しちゃうってことです。

もちろん、スタッフの原稿だけでなく、従来どおり皆さんからの原稿も使わせていただきますし、その結果によっては気が付くとこれまでどおりの発行数になる・・・かも、と言う淡い希望。(「希望」とは「希なる」「望み」と書くわけですが.....)

さてさて、次号はいったいいつ出るんでしょうか？それは神のみぞ知る？！（って、こんな締めでいいんでしょうか？）

では。

(まめぞう)

E.R.F.C. Newsletter

2004 Vol.1

2004年5月20日発行

発行：EUNOS ROADSTER FAN CLUB

E-MAIL：erfc@dec.sakura.ne.jp

URL：http://dec.sakura.ne.jp/~erfc/